

# ■競技における共通ルール

★コンペ初心者の方は、よく読んでおいてくださいネ★

- トライ前** : エリア毎に一列に並んでいただき、トライする順番になったら【スコアカード】を担当のジャッジに渡してください。また予選ではトライする課題No. もジャッジに申告してください。
- クリーニング** : ジャッジやスタッフも適時クリーニングを行いますが、必要であれば選手ご自身でもクリーニングをしていただけます。ただし、**ホールドにチョークは付けないでください（1アテンプトの対象）**。
- スタート前** : **スターティング・ホールド以外のホールド（ハリボテを含む）に、手または足で触れるとその都度1アテンプトになります。**また、予選・セミファイナルでは円滑に順番を回すため、**マットの中でオフザベはせず直ぐにトライしてください。**
- スタート** : 1) **スタートハンドホールドは【S】、スタートフットホールドは【F】と記載します（スメアリングの場合もあります）。**  
2) **選手の身体の全てが地面から離れることをもってアテンプトの開始となります。**  
3) **地面から離れた瞬間、それ以上のムーブを行う前に指定されたスターティング・ポジションにつき始めてもらいます。**  
※「スターティング・ポジション」とは、スタートで使用する両手と両足のホールド（スメアリングの場合もあります）を利用して、安定した体勢になる状態のことです。  
4) **スターティング・ホールドに地面から手が届かない場合には、スターティング・ホールドに跳びついてスタートできます。**  
※一般的に「**地ジャンスタート**」と呼ばれています。そのまま跳びつく場合や、スターティング・ホールド以外を蹴って跳びつく場合などもあります。 **必ず指定された方法で地ジャンスタートしてください。**  
5) **その他指定されたスタートがある場合には、それに従ってください（ジャッジなどが指示します）。**
- トライ中** : 1) **同じ色のテープで示されたホールドやハリボテのみを使用してください。**  
それ以外を有効に使用した場合はジャッジが中止を指示します。  
2) **ホールドのボルト穴は使用できますが、一部には使用を防ぐためガムテープが張ってあります。**  
また、壁の穴は使用禁止ですので、マントルの際などで使用しないでください。  
3) **マットに身体が触れた場合本来は競技中止ですが、今回は触れた程度（擦った程度）であれば続行していただけます。**  
ただし、**体重がマットに乗ったとジャッジが判断したら、そのアテンプトは中止となります。**  
4) **予選・セミファイナルでは円滑に順番を回すため、同じ場所から動かない場合にはジャッジが中止を指示します。**  
実際には、**一定の場所から選手が動かないまたは動けないとジャッジが判断した場合に10秒カウントします。**  
**その10秒間に次のハンドホールドまで到達しなければ、そのアテンプトを中止してもらいます。**  
5) **競技エリア外を区別するテマケーションは黒テープで表示します。このエリアは使用できません。**  
また、**テマケーションがなくともリップ（壁の上部）、白い塗装の柱・張り・管などは使用できません。**  
ただし、**クライミングウォールと同色の壁やカンテなどは特に注意が無い場合には使用して結構です。**  
6) **【ボーナス：B】は予選課題では1つ。セミファイナル・ファイナルでは2つ設定されています。**  
スタートに近い方から1→2です。この【B】を保持することでボーナスが与えられます。  
また【B】を使用せずに次のボーナスや完登した場合にも、前のボーナスは与えられます。
- 完 登** : 終了点は【G】と記載されたホールドです。これを両手でしっかりと保持してください。  
完登は、選手が上記の体勢をとった時にジャッジがそれを認め「OK」とコールします。  
※注意 : 選手のみなさんは「OK」コールを聞くまで降りないでください。
- テクニカル・インシテント** : テクニカル・インシテントは以下の2種類によりジャッジの判断で適用されます。  
①ホールドの破損または緩み。 ②選手に不利または不公平な結果をもたらす、選手自身の行為によるものではない事象。  
1) **予選・セミファイナルにおいて①が発生した場合には、その修復後に被害選手からアテンプトを再開します。**  
ただし、被害選手がそれを望まない場合には列に並んでいる先頭選手から再開します。  
また、修復に多大な時間を要した場合には、セッションタイムを延長する場合があります。  
2) **ファイナルにおいて①が発生した場合には、該当選手はトランジットゾーンで復旧が終わるまで待機をしてもらいます。**  
**復旧後は該当選手から再開し、その際の競技時間は最少2分間で、該当時間より1分間を加えた時間が与えられます。**  
3) **②が発生した場合には、臨機応変に対応します。**
- ジャッジ確認** : 1) **予選・セミファイナルでは成績が確認できるように【スコアカード】を選手自身に渡します。**  
記録はジャッジが記載します。記載ミスや疑問があったら、その都度担当のジャッジに申告してください。  
2) **ファイナルでは【スコアカード】を選手自身には渡しません。**  
そのため、成績の確認は各課題のトライ後にジャッジとともに【ジャッジシート】でご確認ください。  
記載ミスや疑問があったら、その都度担当のジャッジに申告してください。  
※どちらの場合も、**時間が経過してからのジャッジへの申告は無効となりますのでご注意ください。**
- 競技時間外** : 1) **競技が行われていない時間であっても、競技エリア内（A～Fエリア）でのクライミングは控えてください。**  
※アツフのためであれば、競技エリア外の壁などをご利用ください。  
2) **ファイナルに出場する選手は集合時間を厳守してください。予定時刻よりも早まる場合もあります。**
- 声援・応援** : 予選・セミファイナルはセッション方式ですので、クライミングに関する指示なども含め自由に応援・声援をしていただけます。みんなで盛り上げて、ドンドン登りましょう！！  
ただし、**ファイナルはオンサイト方式ですのでクライミングに関する指示を含む声援・応援はできません**のご協力をお願いします。